地域おこし協力隊
活動レポート

協力隊が行く！

今月の担当は
中﨑隊員です！

こんにちは、地域おこし協力隊の中﨑千晶です。

暑い夏がやってきました。先日農業新聞で掲載させていただいた時の写真です。レモングラスもすくすく育ってきてます。タイカレーなどに入れて夏を乗り切りましょう！

ハーブについて

今回はハーブについて少し書きたいと思います。ハーブと聞いて皆さんはどんなハーブを思い浮かべますか？ミント、バジル、ルッコラなどでしょうか？ハーブと聞いてあまり馴染みがないなと思われる方も多いかなと思います。しかしながら、日本古来のモノで言えば紫蘇、ドクダミ、よもぎなど意外に身近な植物もあります（雑草扱いにされがちですが・・・）。

実は、ハーブは薬に使われていたり、自然治療に用いられたり、私たちの生活に密着しています。今、生活様式の多様化、食生活の多様化に伴いハーブが注目されています。巣ごもり需要でハーブの苗は売れているというお話も伺います。また、自宅での調理が多くなり、マンネリ化した食卓に変化を求めるためにハーブやスパイスを利用するご家庭も多くなっているようです。私自身も料理が得意でないため、ハーブを入れてごまかす（?）ことで家庭料理を作っています。

今、私が育てている中で力を注いでいるのは、バジル、ミント、レモングラス、唐辛子です。バジルは3種類ほど栽培しています。ピザなどで利用するスィートバジル、タイ料理などで使用するホーリーバジル（トゥルーシー）、レモンの香りのするレモンバジルです。全て農薬は使用せず、自然のままでの栽培です。それぞれ個性のある風味で、収穫の際は良い香りに包まれます。ミントティーは苦手なのですが、ミントウォーター（お冷やにミントを入れたもの）にしたところ、爽やかでのどごしも良く、畑仕事の合間にリフレッシュできることを実感しました。

私は、ハーブを育てるだけでなく、ハーブを利用することでより健康に、潤いのある生活の提案をしていくことも自分の仕事にしていきたいと思っています。もしご興味のある方がいらっしゃいましたら、インスタグラムなどでお声かけください。

農業新聞に掲載されました！

私事ですが、先日、日本農業新聞（7月8日刊行）に記事を取り上げていただきました。今日までいろいろな出来事がありましたが、地元の方々や他の協力隊の方々の協力を得ながら、課題に向き合うことができています。枕崎で生活するための終の棲家（?）を手に入れることもできましたし、この先の人生は枕崎で過ごそうと思っています。10年前、夫と結婚する時にご挨拶に伺った際、海と開聞岳の景色がとても素敵で印象的でした。今回の家もその景色を望むことができます。今後も枕崎で頑張っていこうと思うところでした。

市長コラム vol. 29

大谷翔平とダルビッシュ有の仕事術

こんにちは、前田祝成です。

ロサンゼルス・エンゼルスの大谷翔平選手の活躍が日米で多くの注目を集めています。私も大谷選手の毎日のように入ってくるニュースに勇気をもらっています。何よりもその仕事（野球）に打ち込む姿がいい。全てに前向きで、ポジティブに仕事に取り組んでいる印象を多くの人が感じていることと思います。この仕事に取り組む前向きな姿は、見習うところが多いなと思っています。（イチロー選手がそうであったように）勝負の世界を生きるアスリートは、技術を極める求道者というイメージを持たれることが多いのですが、大谷選手の一挙手一投足からはその感じがありません。目の前の仕事を楽しんでいる印象です。もちろん成績を残すためには並大抵ではない大変な努力が必要で、大谷選手も人一倍の努力を重ねてたどり着いた今のポジションだと思いますが、その苦労を表に出さずプレーしているように感じます。そのメンタリティはどこからくるのだろうか。

そしてもう1人、私が注目している日本人メジャーリーガーがサンディエゴ・パドレスのダルビッシュ有投手。彼も明るく自分のスキルアップに取り組んでいる印象があります。彼の特徴は何種類もの変化球を駆使するピッチングなのですが、その変化球の握り方や投げ方を惜しげもなくＹｏｕＴｕｂｅなどで公表しているのです。自分が公表することで他のチームのライバル選手を含め全体のレベルが上がることを望んでいるのです。自分の仕事場の質を高めようとする高い意識と寛容さには驚かされます。

コロナ禍で自分の仕事や周りの人の仕事のやり方に対して、ともすると批判的な目を向けてしまいがちな空気も感じます。そんな中で、この2人の日本人メジャーリーガーの仕事への向かい方が、とても清々しく参考にしたいと思う今日この頃です。

枕崎（まく）×人（ひと）×仕事（しごと）　No.17

濵村　百合子（ゆりこ）さん（47）

枕崎市観光協会／松之尾町

「枕崎×人×仕事」では、枕崎にあるさまざまな仕事と、その仕事に携わる人を紹介します。
今月は、枕崎市観光協会を取材しました。

年間を通して県内外や海外からも観光客が多く訪れる枕崎。アジア地域はもちろん、遠くは北欧アイスランドや南米アルゼンチンからも外国人観光客が訪れています。今回は、そんな本市の観光を支える枕崎市観光協会の濵村百合子さんを取材しました。

地元枕崎で生まれ育った濵村さんは、枕崎高校を卒業後、東京の百貨店に就職します。2年後に母親の看病のために枕崎に戻り、アルバイトをしながら看病を行ってきました。その後は駅通りにあった古着屋や枕崎港まつりの「きばらん海事務局」での勤務を経て、枕崎市観光協会で働くようになりました。

今年で7年目を迎える濵村さん。現在は市内106の観光協会員や枕崎の観光情報の発信、観光案内所を訪れるお客さんの対応、問合せへの返答や枕崎駅舎・かつおのぼり掲揚場の管理、枕崎ぶえん鰹スタンプラリーなどのイベントの企画運営や観光PRなどの業務に携わり、その仕事は多岐に渡っています。以前、アルバイトをしていた際の経験や幼い頃、祖父母から聞いていた話、これまで生活してきたことなどが現在の仕事にも生かされているという濵村さん。過去には、案内をしたお客さんから感謝の手紙が送られてきたこともあり、この仕事は「人の役に立てる仕事」と話します。

今までで一番印象に残っている仕事は「関西ファンデー」。枕崎のブースを目がけて来る枕崎出身の方々のふるさとへの熱い思いと、会場にいるお客さんの鹿児島パワーを感じたと振り返ります。現在は、新型コロナウイルス感染症の影響で観光客は減っていますが、アフターコロナに向けて、「枕崎に心を寄せてくれている方々のためにできることを全て行っていきたい」と話します。プライベートではヨガや家で飼っている猫と過ごす時間を楽しみ、「ワークライフバランス」をモットーに枕崎市の観光を盛り上げます。

スポーツ・文化イベント情報

南溟館
開　9:00 ～ 17:00
※入館は16:30まで
休　毎週月曜日
※月曜日が祝祭日の場合は翌日
問　スポーツ・文化振興課
TEL72-9998

特別企画展「親愛なる友フィンセント　動くゴッホ展」

印象派を代表する画家フィンセント・ファン・ゴッホにスポットをあて、コンピューターグラフィックス技術を使った作品を集めた体験型展覧会“デジタルファインアート展”として「動くゴッホ展」を開催しています。

- **会期**　9月5日（日）まで　※会期中無休
- **会場**　南溟館
- **観覧料**　一般1,000円、高校・大学生800円、中学生以下　無料

ゴッホ展関連イベント

●「ナイトミュージアム」
日程　8月7日（土）、14日（土）
内容　夜9時まで開館時間を延長します。

●「南溟館ひまわりマルシェ」＋アミュワゴン
日時　8月21日（土）、22日（日）
午前11時～午後4時
会場　南溟館パフォーマンス広場

県民体育大会（南薩地区大会）が開催されました。

9月に県内各所で開催される県民体育大会の予選会として、南薩地区大会が開催されました。

本市では水泳を皮切りに5つの競技が開催され、選手の皆さんが熱戦を繰り広げていました。